

# GT-OILは動き始める瞬間の最大摩擦力を低減します！

自転車には【停止】⇔【動く】を繰り返す部分が多い

・ワイヤー ・シフトレバー ・ブレーキ ・ディレクター ・チェーン など  
これらは、動き出す瞬間に必ず**最大摩擦**を発生させている

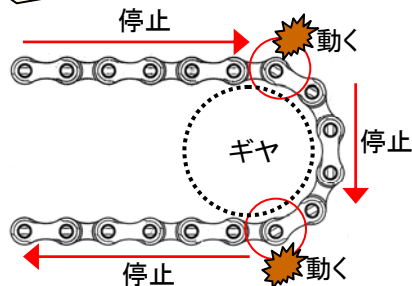


最大摩擦力を低減することに特化！

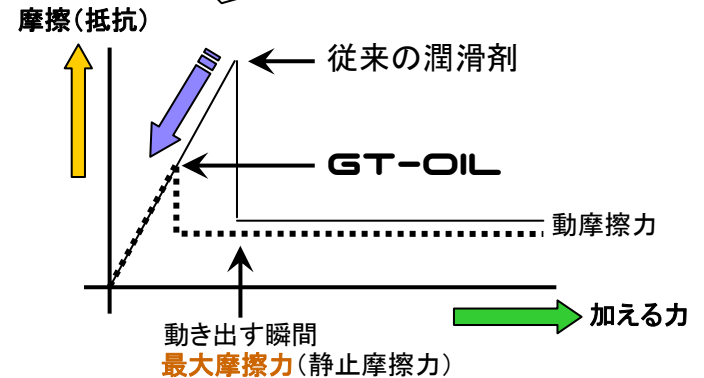
## GT-OIL

- 操作系 ・スムーズなフィーリング
- ・疲労低減、操作ミス減少
- 駆動系 ・軽いペダリング感覚
- ・チェーンが静かになる

チェーンのプレートは【停止】⇔【動く】を繰り返している

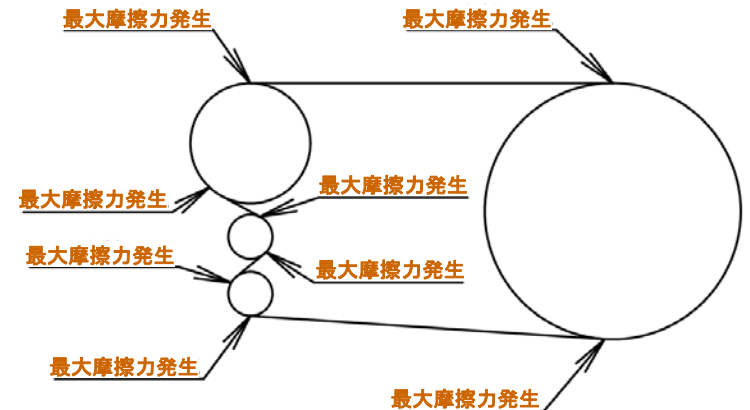


物体が動き出す瞬間が一番抵抗がある！



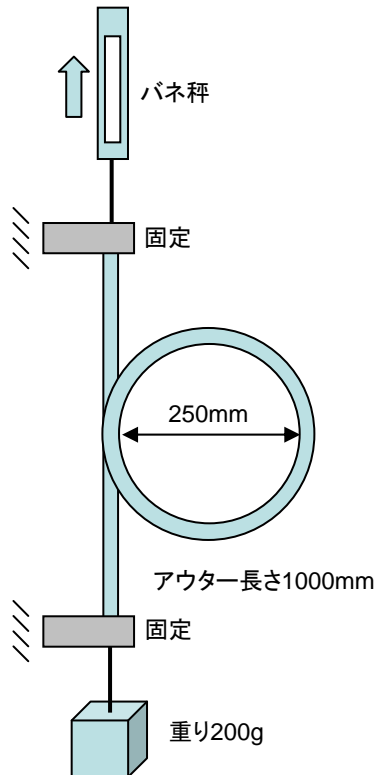
※説明図です。グラフの値は正確ではありません

特にチェーンは最大摩擦力が多発！！



# ブレーキワイヤーでのテスト

ブレーキワイヤーに各オイルを注入し、動き始める力を測定した



## テスト装置

- ・アウター長さを1000mmとして、中間部分に直径250mmのループを設ける
- ・アウターの両端は装置に固定する
- ・インナーの下部に200gのおもりを吊るし、インナー、アウター間に適度な抵抗を発生させる
- ・新品のシマノ製、アウター、インナーを使用し、ABCの3セットを用意する
- ・測定はバネ秤を使用する

## テスト方法

- ・バネ秤をゆっくりと引き上げ、インナーが動き出す値を目視で読み取る
- ・各測定を10回行い、突出した値を除き、平均化した値を測定値とする
- ・測定は「オイル無しの状態」「オイル注入後の状態」の2種類行う  
その測定値の差を結果とする
- ・人間が使用する機材においては、結果の数値だけの判断は正しいとはいえないので、バネ秤を操作した感触をフィーリングとして記載する  
フィーリングは個人的主観があるので、参考とする

## テスト結果

	オイルなし	オイルあり	結果	フィーリング(参考)
Aワイヤーセット + GT-OIL	425g	400g	-25g	・インナーの動き始めから動作中の感覚に差は少ない ・粘度が高い為か？ヌルっとした動作感がある
Bワイヤーセット + W社シリコンスプレー	435g	430g	-5g	・インナーの動き始めに引っかかり感があり、動作中と抵抗の差が大きい ・サラサラしたオイルなので、軽い感触の動作感がある
Cワイヤーセット + W社メンテナンスオイル	460g	440g	-20g	・インナーの動き始めから動作中の感覚に差は少ない ・動作感はAほど重くなく、Bほど軽くない